

平成 23 年度 第 1 回
臨床検査専門医・管理医審議会だより

日 時：平成 23 年 6 月 18 日(土)10：30～11：30

場 所：日本臨床検査医学会 事務所

出席者：宮澤幸久，高橋伯夫，村上正巳，
土屋達行，佐守友博，村田 満，
東條尚子 各委員(7 名)

欠席者：高木 康，小柴賢洋 各委員(2 名)

委員長挨拶(宮澤幸久 委員長)

宮澤幸久委員長より開会の宣言があり議事は進行された。

【報告事項】

1. 研修施設・指導者認定委員会報告

(村上正巳 研修施設・指導者認定 委員長)

2011 年 1 月 1 日付再認定施設審査結果について

新規申請が 1 施設，書類不備のため保留となっていた 2 施設，提出遅れが 1 施設，通常の再認定申請が 10 施設あり，村上委員長から説明があった。

教育カリキュラムなしで専門医不在の 1 施設は認定不可，教育カリキュラムに 8 教科が網羅されていない 3 施設は，この条件を満たしたうえで認定することとなった。学会への発表がなく教育カリキュラムに不備のある 1 施設は，カリキュラム確認のうえ，教育関連特殊施設として認定することとなった。

その他申請された 4 施設が認定病院(2 年)，4 施設が認定病院(5 年)，1 施設が教育関連特殊施設として認定された。

2. 受験・更新資格審査委員会報告

(土屋達行 受験・更新資格審査 委員長)

平成 23 年度臨床検査専門医受験者 資格審査結果について

受験応募者 20 名のうち 5 名が報告書などに問題があるため受験資格について審議されたが，受験していただくこととなり，20 名全員(基本型：7 名(臨床医学選択)，他領域の専門医資格者：13 名)が有資格と判定された。なお，再受験は 7 名で本年度受験者は合計 27 名となる。

3. 第 28 回臨床検査専門医認定試験 試験実行委員会報告(村田 満 試験実行委員長)

試験概要(試験委員，タイムスケジュール，試験日程および場所，試験科目)，筆記試験委員，筆記試験と実技試験内容の確認などが行われたことが報告された。

4. その他

特になし。

【審議事項】

1. 専門医受験資格に関わる会員歴について

(宮澤幸久 委員長)

当会の臨床検査専門医認定試験の受験資格での会員歴は，現在，満 3 年以上と 5 年以上となっているが，日本専門医制評価・認定機構の基本領域学会の専門医制度整備指針では，「基本的に会員歴は問わない」となっているため，今後どのようにするか検討され，研修歴 5 年が証明されれば会員歴を特に問わない方向とすることとなった。

2. 臨床検査専門医認定試験 再試験の受験について

(村田 満 委員長)

認定試験内規で，再試験の受験可能期間は，「初回受験の年度から 5 年以内(再試験の受験回数制限は 4 回)に限り，当該科目のみを受験することができる」と規定されているが，誤解を招く表現のため，「初回受験年度の次年度から 4 年度以内(再試験の受験回数制限は 4 回)に限り，当該科目のみを受験することができる」と改定することとなった。

3. 65 歳以上の臨床検査専門医更新方法について

(宮澤幸久 委員長)

現在，当会の 65 歳以上の臨床検査専門医有資格者の更新は，更新制度規定により「会員であれば別に定める申請方法により資格更新ができる」となっているが，厚労省からこのような方法での更新だと外形基準を満たさないとみなされ，専門医の広告が厚労省より認められた場合，臨床検査専門医を名乗れないことになるという指摘があった。このため検討され，65 歳以上の方も，単位取得による同じ更新条件で更新を行っていただくこととなった。

4. 日本臨床検査専門医会 生涯教育講演会、当会リスクマネジメントに関する講習会の取得単位について(高橋伯夫 副委員長, 土屋達行 委員長)

2010年11月13日の理事会において、臨床検査専門医更新の条件に、「日本臨床検査医学会が主催または後援する学術講演会でのリスクマネジメントに関する講習会に1回以上出席すること」が規定されているが、当会と日本臨床検査専門医会のリスクマネジメントに関する講習会はほぼ同じ開催内容であるが単位数に差異があるため検討のうえ、更新単位表のBに「日本臨床検査医学会または日本臨床検査専門医会が主催するリスクマネジメントに関する講習会(5単位)」を加え是正することとなった。

5. 臨床検査専門医試験(実技試験)問題の事後評価について(日本臨床検査専門医会からの提案)

(東條尚子 専門医会代表)

日本臨床検査専門医会から、臨床検査専門医認定試験の実技試験問題のより良い事後評価方法を検討するよう要望がなされたことに対して検討され、今後、試験問題の事後評価につき試験委員会で検討することになった。

6. 平成23年度実施 第3回臨床検査管理医認定試験要領について(高橋伯夫 副委員長)

平成23年度の臨床検査管理医認定試験実施要領は、臨床病理5月号、そしてホームページに掲載して公示してあり、実施日は平成23年9月11日(日)、会場は慶應義塾大学医学部であること。また、現在、願書配付期間中であることが報告された。なお受験資格で、日本専門医制評価・認定機構の加盟学会の認定医・専門医あるいは日本医師会認定産業医資格を有さない場合は、出願時に本会の学術集会、特別例会、支部総会、支部例会のいずれかに合計4回以上出席していることが、規定に追加されたことが再確認された。

7. 臨床検査管理医規定更新単位での関連団体の追加について(土屋達行 委員長)

臨床検査管理医制度の更新規定の関連学会に「日本臨床検査専門医会」が含まれていないため追加すること、また、平成23年3月27日の理事会に遡っての改定としたいことが提案され、承認された。

8. その他

今後の臨床検査専門医・管理医審議会日程について下記の通りで確認された。

第2回：平成23年8月19日(金)13:00~14:30

第3回：平成23年12月17日(土)10:00~11:30

**平成23年度
第2回理事総会だより**

日時：平成23年6月18日(土)12:00~15:00

場所：日本臨床検査医学会 事務所

出席者：宮澤幸久理事長、高橋伯夫副理事長、
矢富 裕総務理事、村田満会計理事
米山彰子庶務理事、宮地勇人、諏訪部章、
登 勉、村上正巳、ヅ谷直人、賀来満夫、
北島勲、岡部英俊、山根誠久 各理事、
小出典男 2011学術集会長、
荏原順一 2012学術集会長
(学術集会報告と審議事項の一部のみ出席)、
水口國雄(同学院)連絡委員、
東條尚子(専門医会)、
磯部和正(自動化学会)各連絡委員(報告事項のみ出席)(以上21名)

欠席者：前川真人、渡邊直樹、日野田裕治、各理事、
中原一彦、一山 智 監事(5名)

会に先立ち、宮澤幸久理事長から挨拶があり、宮地勇人 理事、北島勲 理事を 議事録署名人に定めて理事総会の議事を進めた。

【報告事項】

1. 支部報告

各支部報告の支部例会・総会予定、支部地方会予定、支部役員の交代、支部での検査関係の教授、部長、技師長、の退任・新任等について報告された。

北海道支部報告

1. 支部総会の予定

第45回支部総会

日時：平成23年11月5日12:30~18:00

場所：旭川医科大学臨床第3講義室

総会長：伊藤喜久(旭川医科大学臨床検査医学講座)

内容：

一般演題(募集中)、

講演(予定): 若宮伸隆教授
(旭川医科大学微生物学講座)
事務局: 旭川医科大学臨床検査医学講座
TEL: 0166-68-2745
FAX: 0166-68-2744
E-mail: lab-med@asahikawa-med.ac.jp

ケートを実施し、幹事 77 名のうち 56 名から回答があったことが報告された。

東北支部報告

1. 支部総会の予定

第 43 回支部総会

(第 22 回臨床化学会東北支部総会合同開催)
期 日: 平成 23 年 9 月 10 日(土)
場 所: 秋田大学医学部附属病院多目的ホール
総会長: 荻原順一
内 容: 特別講演, 教育講演, シンポジウム(災害対策等), 一般演題(募集中)
事務局: 秋田大学大学院医学系研究科
感染・免疫アレルギー・病態検査学講座
〒010-8543 秋田市本道 1-1-1
TEL: 018-884-6297
FAX: 018-836-2624
E-mail: rs-info@hos.akita-u.ac.jp

2. 支部人事の変更

保嶋実教授(弘前大学大学院医学研究科
臨床検査医学講座)退任→(財)黎明郷 弘前脳卒中
・リハビリテーションセンター(理事長, 院長)へ
異動

関東・甲信越支部報告

1. 支部総会の予定

第 23 回支部総会

期 日: 平成 23 年 11 月予定
場 所: 未定
総会長: 三井田孝教授
(順天堂大学医学部臨床検査医学)

2. 支部例会の予定

第 69 回支部例会

期 日: 平成 24 年
場 所: 未定
例会長: 未定

3. その他の報告事項

東日本大震災の被害状況と被災地支援策案のアン

東海・北陸支部報告

1. 支部総会の予定

第 51 回支部総会

(第 22 回臨床化学会東海・北陸支部総会連合大会)
期 日: 平成 24 年 3 月 11 日(日)
場 所: 国際医療福祉大学小田原保健医療学部
総会長: 厩谷直人(国際医療福祉大学熱海病院)
内 容: テーマ「医療に活かす簡易型迅速検査」
教育講演, 特別講演, ランチョンセミナー,
一般演題, メーカー展示(POCT 関連)
事務局: 厩谷直人(国際医療福祉大学
熱海病院検査部)
〒413-0012 静岡県熱海市東海岸町 13-1
TEL: 0557-81-9171
FAX: 0557-83-6632
E-mail: shime@iuhw.ac.jp

2. 支部例会の予定

第 30 回支部例会

日 時: 平成 23 年 8 月 6 日(土)9:30~16:30
場 所: 名古屋国際会議場
例会長: 石井潤一
(藤田保健衛生大学病院検査部教授)
内 容: 「臨床検査のエビデンスを見直す」
教育講演, 特別講演,
ランチョンセミナー, 一般演題
事務局: 北川文彦(藤田保健衛生大学病院検査部)
〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98
TEL: 0562-93-2311
Email: jscc22th@fujita-hu.ac.jp
HP: http://jscc22th.fujita-hu.ac.jp

第 31 回支部例会

(第 23 回臨床化学会東海・北陸支部総会連合大会)
日 時: 平成 24 年 8 月 4 日(土)9:00~16:00
場 所: 富山国際会議場
例会長: 北島 勲
(富山大学臨床分子病態検査学講座)
内 容: 特別講演, 教育講演,
ランチョンセミナー, 一般演題
事務局: 宇治義則(富山大学附属病院検査部)

日本臨床検査医学会ニュース

〒930-0194 富山市杉谷 2630
TEL: 076-434-7737
FAX: 076-434-7736
E-mail: uji@med.u-toyama.ac.jp

期 日: 平成 24 年 2 月 11 日(土)
場 所: 福岡大学メディカルホール
総会長: 松永 彰
(福岡大学医学部臨床検査医学講座)
内 容: 未定
事務局: 福岡大学医学部臨床検査医学講座
〒814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1
TEL: 092-801-1011 ex. 3540
Fax: 092-873-1050
E-mail: matsunag@cis.fukuoka-u.ac.jp

3. 支部人事の変更

金沢大学技師長 高村利治
(平成 23 年 3 月 31 日 定年退職)
堀田 宏
(平成 23 年 4 月 1 日 新任)

2. 支部人事の変更

橋口照人
(鹿児島大学附属病院検査部部长・教授 新任)
大田俊行
(産業医科大学病院臨床検査・輸血部部长・教授
退任)

近畿支部報告

1. 支部総会の予定

第 54 回支部総会

期 日: 平成 23 年 10 月 29 日
場 所: ピアザ淡海
総会長: 日高 洋
内 容: 未定
事務局: 大阪大学医学部附属病院検査部
TEL: 06-6879-6636

2. 支部例会の予定

第 56 回支部例会

期 日: 平成 23 年 7 月 2 日 13:00~17:30
場 所: 京都大学内杉浦ホール
例会長: 齊藤邦明(京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系基礎検査展開学講座)
内 容: 「健康科学に貢献できる臨床検査」
事務局: 京都大学大学院医学研究科
人間健康科学専攻
TEL: 075-751-3930

2. 各種委員会報告

A. 編集委員会(矢富 裕 委員長)

1. 優秀論文賞の選定作業

2010 年に臨床病理誌に掲載された原著論文 41 編より選定。各論文につき 3 名の編集委員が採点を行う第一段階の審査が終了し、6 月 20 日の編集委員会において、候補論文を確定。

2. 2011 年 1 月より、新査読体制を開始

1 論文の審査を原則として、査読者 2 名、担当編集委員 1 名にて行う。

3. 投稿原稿状況

2010 年投稿状況

投稿総数 74 編(新規 59, 再投稿 15)

受理総数 56 編(2010 年投稿 41,
2009 年投稿 15)

返却総数 2 編

2011 年投稿状況 5/31 現在

投稿総数 42 編(新規 27, 再投稿 15)

受理総数 22 編(2011 年投稿 7,
2010 年投稿 15)

返却総数 0 編

結果的に一人の査読委員の結果に基づいて判定した論文数 2 編

中国・四国支部報告

1. 支部総会の予定

第 57 回支部総会

日 時: 未定
場 所: 岡山大学(予定)
総会長: 村尾孝児
内 容: 未定
事務局: 香川大学医学部附属病院検査部

九州支部報告

1. 支部総会の予定

第 57 回九州地方会

(第 23 回臨床化学会九州支部総会と合同開催)

B. 臨床検査点数委員会

(米山彰子 担当理事, 委員長)

平成 23 年度第 2 回臨床検査点数委員会報告
(臨床検査専門医会保険点数委員会と合同開催)

日 時:平成 23 年 5 月 30 日 17:30~18:30

場 所:日本臨床検査医学会事務所

日本臨床検査医学会(下線は両委員会の重複委員)

出 席:宮澤幸久理事長, 稲山嘉明, 狩野有作,
佐藤尚武, 東條尚子, 福地邦彦,
古川泰司, 吉田博 各委員,
渡辺清明オブザーバー

欠 席:米山彰子担当理事・委員長, 中島一朗,
三橋知明 各委員

日本臨床検査専門医会(下線は両委員会の重複委員)

出 席:渡辺清明 委員長, 大西明弘, 東條尚子,
中谷 中, 宮地勇人, 渡邊眞一郎,
メ谷直人 各委員

欠 席:松尾収二, 米川修 各委員

1. 平成 24 年度診療報酬改定提案書について

日本臨床検査医学会からの提案書

1. ティルト試験(未収載項目)
2. プロテイン S 活性測定(未収載項目)
3. 微生物学的検査(既収載項目)
4. 生理検査に係る乳幼児加算(既収載項目)
5. 生化学的検査(I)又は(II)に係る多項目包括規定の見直し(既収載項目)
6. 心電図, 呼吸機能検査, 超音波検査に係る夜間休日加算(既収載項目)
7. 結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン γ 測定(既収載項目)
8. スパイログラフィー等検査, 肺拡散能力検査(既収載項目)
9. トレッドミルによる心肺機能検査, サイクルエルゴメーターによる心肺機能検査(既収載項目)
10. 終夜睡眠ポリグラフィー(既収載項目)
11. 削除項目の提案(既収載項目)
12. グリコアルブミン(既収載項目)

日本臨床検査専門医会からの提案書

1. 生理機能検査管理加算(未収載項目)
2. 血液採取(既収載項目)
3. 末梢血液像(既収載項目)

4. 尿沈渣顕微鏡検査およびフローサイトメトリー法による尿中有形成分測定(既収載項目)
5. 染色体検査(既収載項目)
6. 悪性腫瘍遺伝子検査(既収載項目)
7. 時間外緊急院内検査管理加算(既収載項目)
8. 血液細胞核酸増幅同検査(既収載項目)
9. 免疫関連遺伝子再構成(既収載項目)
10. UDP グルクロン酸転移酵素遺伝子多型(既収載項目)
11. WT1mRNA 核酸増幅検査(既収載項目)
12. CK19mRNA(既収載項目)

2. 医療ニーズの高い医療機器等の早期導入要望に関する意見募集について

すでに評議員にメールでお知らせしているが, 今年度も継続して募集中。欧米で認可されていなくても, 日本で開発中のものは対象になり門戸が広がった。積極的に意見を出してほしい。

3. 臨床検査振興協議会の活動報告について

ワーキンググループ A/C は, 平成 22 年度診療報酬改定で増点されなかった項目, 増点が不十分であった項目について, 日本臨床検査医学会, 日本臨床検査専門医会と協力して増点を要求する。裏付け資料として, 有用性調査ならびにコスト調査を実施した。日本臨床検査医学会ならびに日本臨床微生物学会による微生物・感染症検査に関する有用性調査, 日本臨床検査医学会, 日本遺伝子診療学会, 日本染色体遺伝子検査学会, 日本人類遺伝子学会の協力を得て, 遺伝学的検査に関する有用性・コスト調査を実施した。コスト調査は, 採血ならびに末梢血液像・尿沈渣の調査を実施した。採血コスト調査は日衛協の協力を得て開業医・診療所での調査も行った。これらの結果を両学会から内保連への提案書にも反映させた。

ワーキンググループ B は, 実施料と判断料の配分の適正化について, ワーキンググループ D は, 検査試薬の技術と診療報酬について検討している。

今後, 厚労省との勉強会を経て, 最終的に 7 月頃をめどに提言書を取りまとめる。

4. 内保連の活動について

・生体検査 WG について

米山検査関連委員会委員長が中心となり内保連加盟団体で参加を募り, 29 学会の賛同を得て生体検査 WG を立ち上げた。4 つのサブグループ(循環器, 呼

日本臨床検査医学会ニュース

吸器、神経・精神、消化器)に分け、各分野の相対的評価により増点希望項目を抽出した後、特に増点を希望する項目につき、36施設の協力によりコスト調査を実施した(消化器は実施せず)。日本臨床検査医学会、日本臨床検査専門医会からも多くの施設にご協力をいただいた。その結果、調査項目は全て、平均コストが保険点数を上回っており、人件費すら確保できていない項目もあった。コスト調査結果は各学会からの要望書の希望点数に反映されている。今後、内保連からの提言書としてとりまとめ、宮澤理事長(内保連検査系副代表)から厚労省に積極的に働きかける予定である。

・特定内科診療の新設について

内保連は、ドクターフィーに相当する内科系診療技術を診療報酬に反映させるために、診療報酬点数表の上で外科系技術の反映である既存の「第10部手術」に相当する新しい部、「第〇部 特定内科系診療(仮称)」の新設を要望する方針である。今回は、受け皿作りのため、非専門家や一般の国民から見ても、現行では著しく不合理であると考えられる疾患に絞って要望する予定である。

日本臨床検査医学会からの提案

(1)未記載項目

IgG サブクラス(IgG4)

血管内皮機能検査

(2)既記載項目

外来迅速検体検査加算(増点)

骨髓像(増点)

生理検査に係る乳幼児加算

心電図、呼吸機能検査、超音波検査に係る
夜間休日加算

微生物学的検査(増点)

結核菌特異蛋白刺激性遊離インターフェロン

γ測定(増点)

生化学的検査(Ⅰ)又は(Ⅱ)に係る多項目包括
規定の見直し(削除項目の提案)

日本臨床検査専門医会からの提案

(1)未記載項目

生理機能検査管理加算

(2)既記載項目

血液採取(増点)

末梢血液像(増点)

プロトロンビン時間(増点),

トロンボテスト(減点)

染色体検査(増点)

血液細胞核酸増幅同定検査(増点)

遺伝病的検査(増点)

C. 精度管理委員会(宮地勇人 委員長)

1. 2011年度CAPサーベイについて報告

1)2011年度APサーベイ申し込み集計

93施設が参加(対前年 -4施設減)。

2011年度サーベイ試料は5月11日から初回発送を開始。

2)5月30日の時点で、FH(総合血液検査)、HE(総合血液検査)、CGL(血液凝固検査)、CRT(心筋マーカー検査)の参加施設への発送を完了。

2. 遺伝子検査の項目導入の準備

「国際臨床検査成績評価プログラム」に、2012年度より、「遺伝子関連検査項目」の新規項目導入の準備中。(2012年度の申込みを9月初旬から案内できるように準備中)

D. 検査項目コード委員会(村田 満 委員長)

JLAC10コード(臨床検査項目分類コード)の新設

検査項目コード委員会内の電子メール回議にて検討し下記2コードを新設した。

(1)新設分析物コード：5E154

新設名称：トリコスポロン・アサヒ抗体

設定日：2011年3月26日

(2)新設分析物コード：5E057

新設名称：肺炎球菌細胞壁抗原

新設日：2011年5月16日

E. 遺伝子委員会(宮地勇人 委員長)

遺伝子関連検査に関するガイドラインの状況、遺伝子分析科学認定士制度(日本臨床検査医学会/日本臨床検査同学院共催)試験概要、また、その更新試験の準備について報告された。

F. 医療安全委員会(メ谷直人 担当理事)

11月に開催される岡山での学術集会において、医療安全委員会主催のシンポジウムが行われる。メール会議で挙がっていた候補者に依頼し、下記のごと

く司会者と演者が決定した。

第 58 回学術集会

医療安全委員会主催シンポジウム(案)

「感染症の医療安全」

司会：谷直人(国際医療福祉大学熱海病院)

三井田孝(順天堂大学)

a) 結核の医療安全

草野展周(岡山大学附属病院中央検査部副部長)

b) 中規模・小規模病院での針刺し事故の防止策、対処法とその後のフォローアップ

波多野吉治(中野総合病院中央検査科技師長)

c) 院内感染における検査部からの情報発信

近藤成美(順天堂大学医学部臨床検査医学准教授)

d) 検査データの感染制御への活用

長尾美紀先生(京都大学医学部附属病院検査部/感染制御部助教)

e) ICT(Infection Control Team)と細菌検査室

岡崎充宏先生(東京大学医学部附属病院感染制御部細菌検査室)

3. **第 28 回臨床検査専門医認定試験 試験実行委員会報告**(村田 満 試験実行委員長)

試験概要(試験委員, タイムスケジュール, 試験日程および場所, 試験科目), 筆記試験委員, 筆記試験と実技試験内容の確認などが行われたことが報告された。

4. **臨床検査専門医・管理医審議会報告**

(宮澤幸久 会長)

午前中に開催された臨床検査専門医・管理医審議会での報告, 審議内容について報告された。

5. **第 58 回日本臨床検査医学会学術集会報告**

(小出典男 会長)

平成 23 年 11 月 17 日(木)~20 日(日)に岡山コンベンションセンターで開催予定の第 58 回学術集会の主な講演・シンポジウム内容, プログラム, 一般演題の申込状況などが報告された。

6. **第 59 回日本臨床検査医学会学術集会報告**

(高橋伯夫 副理事長 一山智会長欠席のため)

平成 24 年 11 月 29 日(木)~12 月 2 日(日)に国立京都国際会館で開催予定であること, また, 同時に

第 12 回 ASCPaLM 会議(高橋伯夫会長)を開催することが報告された。

7. **第 60 回日本臨床検査医学会学術集会報告**

(荻原順一 会長)

平成 25 年秋頃に開催すること, なお会場については検討中であることが報告された。

8. **関連団体報告**

A. **日本臨床検査同学院**

(水口國雄 同学院 理事長)

事業報告

1. 平成 22 年認定試験報告 (2010/6/13 以降)

①二級試験 受験者 1019 名

合格者 640 名 欠席者 47 名 合格率 62.8

②緊急試験 受験者 486 名

合格者 435 名 欠席者 10 名 合格率 89.5

③遺伝子分析科学認定士試験 受験者 102 名

合格者 78 名 合格率 76.5

④一級試験 受験者 28 名

1 次筆記・2 次合格者 0 名

登録者総数 209 名

2. 第 25 回「緒方富雄賞」受賞式と公開講演会を下記にて開催した。

日 時:平成 22 年 11 月 27 日(土)17:00~19:00

場 所:学士会館本館

受賞者名:穴見正信(長崎病理長崎病理診断科)

上野一郎(香川県立保健医療大学大学院)

大澤 進(九州大学大学院)

末吉徳吉(順天堂大学大学院)

森山隆則(北海道大学大学院)

公開講演会

日 時:平成 22 年 11 月 27 日(土)16:00~17:00

場 所:学士会館本館

講 師:前田昭太郎(三菱化学メディエンス(株) 病理・細胞診センター)

題目:国際交流のあり方—タイ国を中心としたアジア諸国との細胞診を通じての国際交流の実際—

司会:小松京子(杏林大学病院病理部)

3. 平成 22 年度部会活動(主に実技講習会)

①臨床化学講習会:

日本臨床検査医学会ニュース

- 3月7日(日) 10:00~17:00
文京学院大学・受講者 34名
- ②微生物学講習会：
6月6日(日) 10:00~17:00
順天堂大学・受講者 80名
- ③免疫血清学講習会：
6月6日(日) 10:00~17:00
新渡戸文化短期大学・受講者 29名
- ④寄生虫学講習会：
6月13日(日) 10:00~17:00
順天堂大学・受講者 80名
- ⑤西日本寄生虫学講習会：
6月20日(日) 10:00~17:00
川崎医科大学・受講者 32名
- ⑥循環生理学講習会：
6月27日(日) 10:00~17:00
日台駿河台病院・受講者 68名
- ⑦病理学講習会：
7月4日(日) 9:00~17:00
文京学院大学・受講者 58名
- ⑧東京大学臨床検査セミナー(共催)：
血液学 7月11日(日) 受講者 96名。
- ⑨微生物学部会：
英語勉強会 1年間で開催。受講者 22名。
- ⑩臨床化学英語
IN 勉強会 1年間で開催。受講者 41名。
- 後援
- ①京都臨床化学実技研修会：
3月28日 37名
- ②京都臨床化学サマー研修会：
9月5日 130名
- ③腎・泌尿器検査研究会セミナー岡山：
9月19日 49名
- ④腎・泌尿器検査研究会セミナー岡山：
11月20日 78名
4. 「通信」発行状況
・現在季刊として年 4 回定期発行されている。各号には試験問題解説を掲載。
・医学的基礎知識「生化学」掲載。
・よもやま話は小栗豊子先生の「微生物検査」を掲載。
5. 関連学会・団体との会合の報告
2月4日(金)公益信託臨床検査医学研究奨励金
授与式
2月24日(木)認定臨床微生物検査技師制度協議会・審議会
3月17日(木)認定輸血検査技師制度審議会・協議会
5月22日(日)日本臨床検査学教育協議会設立50周年記念式典
5月31日(火)日本臨床検査標準協議会総会・理事会
6. 平成23年事業計画
①公益法人取得への委員会活動開催
②理事会・各委員会の開催
③「緒方富雄賞」, 講演会の開催
④二級・緊急試験の問題集発刊の準備
⑤6月11日・12日 遺伝子分析科学認定士試験実施
⑥7月9日~7月31日 二級臨床検査士試験実施
⑦7月31日 緊急臨床検査士試験実施
⑧10月, 11月一級臨床検査士試験の実施
⑨各関連団体との強化
⑩「通信」医学的基礎知識「遺伝子検査」, よもやま話は水口國雄の「病理から臨床検査へ」を掲載。
7. 平成23年認定試験志願者報告
①二級試験 志願者 988名
②緊急試験 志願者 396名
③遺伝子分析科学認定士試験 志願者 111名
8. 平成23年部会活動(主に実技講習会)
①臨床化学講習会：
3月6日(日) 10:00~17:00
文京学院大学・受講者 40名
- ②免疫血清学講習会：
5月29日(日) 9:00~17:00
新渡戸文化短期大学・受講者 43名
- ③循環生理学講習会：
6月12日(日) 9:00~16:30
駿河台日本大学・受講者 71名
- ④東日本病理学講習会：
6月12日(日) 9:00~17:00
文京学院大学・受講者 56名
- ⑤西日本病理学講習会：
7月9日(日) 9:00~17:00
京都保健衛生専門学校 現在 27名
- ⑥微生物学部会：
英語勉強会を1年間で開催。受講者 21名

⑦IN 英語勉強会：

1年間で開催。受講者33名
後援

①京都臨床化学実技研修会：

3月13日 30名

②腎・泌尿器検査研究会セミナー：

5月28日 66名

③京都臨床化学サマー研修会

9月4日

B. 日本臨床検査専門医会

(東條尚子 専門医会 庶務幹事)

1. 幹事会報告

第1回全国幹事会：平成23年1月21日(金)開催、
日本臨床検査医学会事務所
・第23回(平成25年)春季大会の大会長は、杏林大学
渡邊卓教授に決定された。

・平成23年度会長・監事選挙の選挙管理委員が指名された。

第1回常任幹事会：持ち回り(3月17日(木)から3月21日(月))開催

・平成23年度会長・監事選挙の選挙規定、投票要領、選挙日程が決定された。

臨時常任幹事会：4月22日(金)開催、日本臨床検査専門医会事務所

・東日本大震災後の状況を勘案のうえ、盛岡での第21回春季大会、第1回生涯教育講演会の開催が決定された。

2. 平成23年度各種セミナー報告

第78回教育セミナー

平成23年4月23日(土)、順天堂大学医学部
担当：三井田 孝教授，28名参加(欠席2名)

第79回教育セミナー

平成23年5月8日(日)、自治医科大学医学部
担当：山田俊幸教授，28名参加(欠席0名)

3. 第一回生涯教育講演会について

平成23年6月10日(金)アイーナ(いわて県民情報交流センター)にて開催予定

担当：山田俊幸 教育研修委員長

4. 第21回日本臨床検査専門医会春季大会について

平成23年6月10日(金)、11日(土)アイーナ(いわて県民情報交流センター)にて開催予定

大会長：諏訪部 章教授

5. 第38回日本臨床検査専門医会総会

平成23年6月11日(土)アイーナ(いわて県民情報交流センター)

6. 第28回臨床検査振興セミナーについて

7月22日(金)東京ガーデンパレスにて開催予定。
担当：佐守友博 渉外委員長

7. 第39回日本臨床検査専門医会総会および講演会について

11月17日(木)岡山コンベンションセンターにて開催予定。

8. 今後の幹事会開催予定について

第2回全国幹事会：6月10日(金)

場所：アイーナ(いわて県民情報交流センター)

第2回常任幹事会：10月14日(金)

場所：日本臨床検査専門医会事務局

第3回全国幹事会：11月17日(木)

場所：岡山コンベンションセンター

第3回常任幹事会：12月16日(金)

場所：日本臨床検査専門医会事務局

C. 日本臨床検査標準協議会

(矢富 裕 JCCLS 常任理事)

平成23年度事業計画

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1. 平成23年度重点項目

1)JCCLS新委員会制度による委員会活動の推進

2)JCCLS/JACRI標準化事業の推進

3)厚生労働省及び経済産業省との関係強化
(委託事業を含む)

4)JCCLS公的資格強化策(ISO/IEC17025及びガイド34に基づく認定取得)

2. 平成23年度学術集会

今年度の学術集会は平成23年8月20日(土)に下記の会場で開催し、メインテーマとしては米国NIHのDr. Alan Remaleyを招聘し、HDL-C、LDL-C直接法の問題点及び臨床的意義等を取り上げる予定である。

1)日時：平成23年8月20日(土)13～17時

2)場所：主婦会館プラザエフ

3. ISOガイド34を包含したISO17025取得に関して臨床検査の分野において、この規格に基づく生産/試験のプロセスを通して得られた標準物質に対しては、国内はもとより世界的な信頼感を獲得する。

日本臨床検査医学会ニュース

公的認知、技術能力の証明、ステータス、信頼性の確保は、臨床検査の標準化を標榜し、この分野における

国内第一人者である JCCLS にとって必須条件と考え、取得に向け作業を開始する。

4. 日本臨床検査標準協議会誌の発行

当会会誌 23 巻 1 号を 7 月に発行する予定である。

5. 委員会活動

1) リウマトイド因子標準化委員会

① リウマチ学会総会での承認及びワークショップでの発表

② 第 21 回 IFCC 学会での発表

2) 多項目実用参照物質検討委員会

① 平成 22 年度作成試料の臨床検査技師会サーベイでの性能評価

② 次年度試料作成

3) 遺伝子関連検査標準化専門委員会

① 「遺伝子関連検査に関する日本版ベストプラクティスガイドライン(暫定版)への対応

② 「遺伝子関連検査検体品質管理マニュアル(暫定版)」の Approved 版作成

③ 委託事業：遺伝子関連検査に用いる核酸の品質の評価方法及び管理手法に関する標準化

4) ISO/TC212 国内検討委員会

① ISO/TC212 全体会議(総会, WG1 会議, WG3 会議)及び各 WG 会議(未定)への参加

② 国際規格作成事業への継続参加

③ 国内検討委員会会議と各 WG 会議の開催と懸案事項の審議

④ JCCLS/JAB 臨床検査室認定プログラムへの参加と協力

⑤ その他関連事業

5) 認証評価委員会

① HECTEF 作成実用参照物質の推奨品作業

② 常用参照標準物質：JSCC 常用酵素の次ロットの値付け及び認証

6) 標準採血法検討委員会

① 標準採血法ガイドライン改訂版出版後の対応

7) 尿検査標準化検討委員会

① 尿沈渣検査法 JCCLS GP1-P4 の日臨技出版の尿沈渣検査法 2010 の第一部に掲載

8) 用語委員会

① 「臨床検査標準化関連用語集」のパブリックコ

メントへの対応

② 検査法、検査名称の標準化に関する検討

9) 臨床検査室認定プログラム

① 病理学的検査室、特定健診対応臨床検査室の認定充実

② 関連団体との連携強化

③ 認定の信頼性向上と意義・効果の提示

④ 審査員の教育・訓練

⑤ 生理機能検査認定に係わる調査

D. 日本臨床検査自動化学会(磯部和正 連絡委員)

平成 23 年度事業予定

1. 会議等

4 月

第 1 回理事会 6/30

第 1 回 POC 推進委員会 4/8

第 1 回血液検査機器技術委員会 メール会議

第 1 回遺伝子・プロテオミクス技術委員

メール会議

第 1 回科学技術委員会 メール会議

6 月

茂手木賞選考会 6/24

座長選定委員会 6/30

10 月

第 2 回理事会 10/6

評議員会 10/6

拡大編集委員会 10/6

第 2 回遺伝子・プロテオミクス技術委員会 10/6

第 2 回科学技術委員会 10/7

第 2 回 POC 推進委員会 10/7

第 2 回血液検査機器技術委員会 10/8

総会 10/7

会計監査 3 月

編集委員会 3, 10 月

2. 大会, 春季セミナー

第 43 回大会

会 期: 10 月 6 日(木)~8 日(土)

(共催展示会 10/7~10/9)

大会長: 矢富 裕(パシフィコ横浜)

第 25 回春季セミナー

会 期: 4 月 9 日(土)

例会長: 北島 勲

(ANA クラウンプラザホテル富山)

3. 委員会活動

技術セミナー(科学技術委員会, 遺伝子・プロテオミクス技術委員会, POC 推進委員会, 血液検査機器技術委員会)10月6日(木)

4. 刊行物

日本臨床検査自動化学会誌: 36巻 1~5号
科学技術委員会マニュアル

9. 岩手視察と陸前高田への臨床検査技師派遣について(▽谷直人 担当理事)

1. 臨床検査関連物資の支援

POC 関連機器を中心に臨床検査機器の貸与, 試薬の無償提供(寄付)を行なうため, 臨床検査関連企業の情報を一元化する。被災地もしくは被災地へ向かう派遣団のニーズに沿った供給ができるよう, 発送前に必要検査及び試薬数の確認に加え, 使用経験の有無も確認後に各企業より送付。

2. 被災地の視察

訪問者: 宮澤幸久理事長, 諏訪部章顧問,
坂本秀生委員長, 小林 隆委員

日程: 平成 23 年 4 月 18 日

視察先: 岩手県陸前高田市にある米崎コミュニティーセンター仮設診療所, 陸前高田第一中学校避難所内救護所。県立高田病院は津波で病院機能を失ったほど甚大な被害をうけ, 震災後まもなく米崎の仮設診療所にその機能を移し医療活動を行っていた, 検査機器がほとんどなく, 直ちに臨床検査支援物資を送付した。

現地の様子: 支援した臨床検査物資は, 米崎の仮設診療所では有効利用されており, 操作する臨床検査技師が足りない程であった。一方, 陸前高田第一中学校避難所内救護所では, 臨床検査技師が常駐していないため, 必要な際に臨床検査を実施したくとも出来ないようだった。

3. 臨床検査技師の派遣

臨床検査技師派遣までの経緯: 臨床検査技師の有用性を米崎の仮設診療所の倉田一男技師長から伺う。ボランティア派遣の準備を開始していた, 兵庫県臨床検査技師会の富永会長にその場で電話をかけ, 状況をお伝えする。

視察後にも現地とのやり取りの結果, 岩手県災害医療本部内「いわて災害医療支援ネットワークセンター」より正式に臨床検査技師の派遣要請を本学会

へ受け, 兵庫県臨床検査技師会より臨床検査技師の派遣が始まる。

宿泊所: 陸前高田市周囲に被災後であり宿泊施設はなく, 諏訪部顧問の紹介にて車で 1 時間ほどの遠野市にある六角牛病院寮を無料で利用させて頂けるようになった。

派遣実績: 本委員会の予算から, ボランティア保険代金, 自宅から現地までの交通費, 宿泊所までの移動手段としてレンタカー, 食事代として 7 千円/日を支給。

派遣期間: 4 月 27 日より 6 月下旬まで。第一グループのみ 4 月 27 日から 5 月 8 日までと長期であったが, 以降は土曜に現地入りし翌週の日曜まで滞在し, 2 名のペアにて交代制で派遣を 6 月末まで予定している。7 月以降は仮設クリニック設営のため, ボランティア派遣の要請は無い予定と連絡あり。

4. 今後の方針について

6 月 4 日に全委員及びオブザーバーとして, 阪神淡路大震災時に神戸大学病院の臨床検査技師長をお務めだった向井正彦氏(現神戸常盤大学准教授)にも出席頂き, 長期的視野に基づいた支援体制についての話し合いを持ち, 震災後 3 ヶ月が経過し, 被災地でも保険診療が再開され自立に向けて歩み始めた施設もあるため, 当会を通じ支援物資を提供した施設での支援物資の使用状況を把握し, 震災約半年後の 8 月 31 日をもって今後の支援体制を見直す予定であることが報告された。

10. 役員選挙の経過報告(宮地勇人 委員長)

平成 24~27 年度役員選挙を行っており, 現時点は理事長選挙投票中で, 理事長候補者として 2 名が立候補し 6 月 25 日投票締切であること, その後, 理事・監事候補者の立候補後に投票となること, また, 選挙については, 順次, ホームページおよび臨床病理誌に掲載していく予定であるが報告された。

11. その他

特になし。

【審議事項】

1. 第 58 回学術集会での当会 60 周年記念式典と記念講演会について(高橋伯夫 副理事長)

当会は 1951 年 11 月 20 日に臨床病理懇談会として設立され本年で 60 周年となる。今回は大々的ではなく小規模で行いたい。式典には櫻林郁之介元会長、渡辺清明前理事長、宮澤幸久現理事長にご挨拶を、そして、記念講演会として岡山出身の八名信夫氏(悪役商会：俳優)をお願いする予定であることが提案され、承認された。

なお、予定日時は 11 月 18 日 13:20~14:20 で、その後、当会の総会を行う予定である。

2. 学会横断的学用共通基準範囲 WG の立ち上げについて(矢富 裕 総務理事)

当会標準化委員会が策定した学用共通基準範囲について、検査関連学会の日本臨床化学会、日本検査血液学会、日本臨床衛生検査技師会などと横断的に学用共通基準範囲 WG を組織し改訂を行っていききたい、具体的には年 1~2 回程度委員会を開催し追加項目等の検討をし、よりよいものにしていききたいと前川真人理事(代理：矢富)から提案があり、承認された。

3. 「臨床検査のガイドライン 2009」の「eブック」での販売について

(高橋伯夫 ガイドライン委員会担当理事)

「臨床検査のガイドライン JSLM2009」は在庫が僅かとなり、ホームページに掲載できるのは、次回改訂版が出てからのため、電子出版(eブック)にし現在の販売価格の 2 割程安く販売を行いたいとの提案があり、承認された。

4. その他

臨床検査管理医規定更新単位での関連団体の追加について(高橋伯夫 副理事長)

臨床検査管理医制度規定の更新規定にある関連学会に「日本臨床検査専門医会」が含まれていないため、3月27日の理事会に廻り改定することが提案され、承認された。

学術集会の在り方について

(宮澤幸久 理事長, 高橋伯夫 副理事長)

渉外委員会から今後の学術集会の在り方について、検討すべきという意見が出された。これに対して執行部からは、本学会は基本領域学会であることから、会員が参加しやすい地域で開催されることを第一義に考え、さらに将来的には関連学会共同でのグローバルな展示の可能性を考えると、主要都市で開催する方針としたい旨の提案がされ、さらに継続審議していくこととなった。

理事会等日程(矢富 裕 総務理事)

次回以降の理事会日程について、確認された。

平成 23 年度第 3 回：8 月 19 日(金)15~18 時、

第 4 回：10 月 22 日(土)正午~、

第 5 回：12 月 17 日(土)正午~

：新旧交代の理事会

閉会の挨拶 (高橋伯夫 副理事長)

高橋伯夫副理事長より閉会の言葉があり本理事会は閉会された。